

掃除をしていた私の手が、ふと止まりました。  
それは、隣の部屋から流れてくる歌が気になったからです。

♪ 言えないが増えるたび 大人になれた気がしてた  
嘘が上手につけるたび 賢くなれた気がしてた  
大丈夫と聞かれては 放っておいてと言った  
知らないくせにと突き放したあの頃・・・

この歌詞を聴いていると、なぜか懐かしいような、寂しいような複雑な気持ちになり、た  
まらず隣の部屋を覗いてみたくなりました。見ると、テレビでは、NHK「みんなのうた」  
が放送されており、その歌のタイトルは、「親知らず」というものでした。

私はその時、素敵なお歌に出逢えたことが嬉しくて、すぐにインターネットで調べてみまし  
た。するとその曲は、「みんなのうた」の中で大きな反響となり、再々放送までされている  
ということでした。作詞、作曲、うたは、関取花（せきとり はな）さん。彼女は、「大人  
になると、皆言います。『若かったからね』『反抗期だったからね』と。でも、あの頃はあ  
の頃なりに、そんな一言じゃ片付けられない葛藤やプライド、罪悪感など、いろいろな物を  
抱えて、そして戦っていたように思います。本当は、話を聴いて欲しいのに、強がりな邪  
魔をして甘えることもできず、ありがとうもごめんねも言えませんでした・・・」とコメ  
ントしています。

♪ あなたの知らないうちに 大きく育てってしまった親知らずが  
ズキンズキンとうずくたび あなたのせいにしたくなり 扉の鍵を閉めました  
素直になれないくせに 優しくなれないくせに  
大きく育てってしまった親知らずが ズキンズキンとうずくのは  
あなたに言えない言葉を ぎゅっと噛みしめるからでした

この歌詞には、自分を育ててくれた親への、思春期特有の複雑な想いが込められています。  
その感情が「親知らず」に例えられて表現されていることに、私はとても共感を持つこと  
ができました。また、思春期の頃の自分だけでなく、今は親になり、思春期の子どもを持  
つ自分にも重なり、知らない間に育てってしまった、それぞれの「親知らず」が思い浮かん  
でくる気がしました。

さて、3 月も残りわずかとなりました。

今、まさに「親知らずが生えている人」、「かつて親知らずが生えていた人」、「これから親知らずが生えるであろう子どもたち」・・・。

そんな「親知らず」をめぐる思い描く風景は、人によってそれぞれ違うのだと思います。しかし、それぞれの心の片隅にある風景は違っていても、その根底にあるものは、なんだか同じような気がします。そう思ったら、急に心がぼかぼかしてきました(\*^\_^\*)【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^\_^)/

\*\*\*\*\*

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索